



こんにちは ひぐち英明 です

339号 2018年8月26日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel761-6341
左京生活相談所 Tel781-6622

ホームページ：

景観を壊しながら景観を売りにするホテル建設計画

南禅寺の庭園群に箱型ホテル

南禅寺から疏水インクラインの西側一帯は、七代目小川治兵衛（植治）作の庭園群が広がっています。国指定名勝の無鄰菴



ホテル建設予定地・奥が植治のお庭
手前に木造2階建ての建物が建っていた

の隣に、料亭・南禅寺ぎんもんどがありまた（昨年閉店）。そこはかつて、近江の豪商として栄えた小林吟右門の別邸（木造2階建て）で、その別邸をそのまま料亭として使っていました。

このお庭も小川治兵衛作です。その別邸跡地に、お庭は残すものの、残りの敷地目いっぱい（お庭のすぐ

際まで・一部

食い込みながらか？）4階建て（高さ14m）の箱型ホテルの建設が計画されています。事業者は、ヒューリックという東京の開発業者。すでに、木造2階建ての別荘は取り壊されてしまっています。南禅寺の庭園群の景観を壊しながら、眺望景観を売りにしたホテルを建設するのでしたら、こんな理不尽なことではありません。

花背峠への道が2週間ぶりに開通 花背トンネルがやっぱり必要



7月の豪雨で、鞍馬温泉のすぐ北の道路が崩落し、花背峠への道が行止めになっていました。7月20日に仮復旧工事が終わり、2週間ぶりに道が開通。峠以北のみならず、皆さんの生活を考えると、花背トンネルの実現と、その前後の道路の整備が求められています。

7月の豪雨で、鞍馬温泉のすぐ北の道路が崩落し、花背峠への道が行止めになっていました。7月20日に仮復旧工事が終わり、2週間ぶりに道が開通。峠以北のみならず、皆さんの生活を考えると、花背トンネルの実現と、その前後の道路の整備が求められています。



大津市に、原発災害の避難計画の聞き取りに行ってきました。福井の原発群で事故

国言いきなりでは市民の安全は守れない 大津市の原発事故対策を視察

大問題になっている「民泊」営業も同じですが、自分さえ儲けられればいい、という市外の企業が京都市の景観や

住民の暮らしを壊している現状は、行政として対策を講じる必要があります。

写真トピックス



→京建大原分会の住宅アワーを訪問

みつなが府議と街頭から府市政報告宣伝



が起こった際に、大津市が避難対象としている範囲は原発から47キロ以内の1万1千人。一方、京都市が避難の対象としているのは原発から30キロ以内の330人。避難計画の対象範囲が違う理由は、京都市が国の原子力災害対策指針をそのまま適用しているのに対し、大津市は、国の基準では不

十分と判断。福島原発事故で全村が居住制限区域となった飯館村が原発から47キロ圏内にあったことを教訓に、47キロ圏内に被害が及ぶ可能性があるかと判断し、避難計画を立て、安定ヨウ素剤を備蓄し、避難訓練も行っています。なんでも国言いきなりでは、市民の安全を守ることはできません。

ひぐち英明 com
ホッとコム
次男（高校3年）が髪の毛を切りました。「ツーブロック」という髪型で、全体的には長めですが、横と後ろは刈り上げてあります。今回は刈り上げが大きめだったので、その部分がよく目立っていました。

次女（中学3年）の感想は「サザエさんの」たちやんみたい」とのこと。本人は「学校の先生に、この方が似合っていると言われた」と嬉しそうに報告していました。先生（年配の女性）に髪型をほめられて喜んでいますが、高校生男子ってどうなん、と思います。

さて、京都市の2017年度決算の概況が発表されました。8年連続で「黒字」との新聞報道でしたが、市長も「黒字」であることだけを数年嬉しそうに報告しています。しかし、京都市の会計を黒字にするために、苦しい市民生活を支える社会保険料を削減し、火災や災害に備える消防局職員を削減する。こうしたことは、住民の福祉の向上、という自治体本来の役割を投げ捨てるものと言わざるを得ません。
自治体財政には、「名誉の赤字、不名誉の黒字」があると言われますが、「この数年は住民が苦しんでいる」「不名誉の黒字」そのものではないでしょうか。